



大和島根に咲きいでし 花のさまざま つみそえて いまし粧える花御堂
たたすほとけのとうとさよ あわれ三千年そのかみに 天と地とを指さして
われぞこの世をすぐうべき とうとき聖と生れましぬ
時節は春なり地は王土ここにみ教えいや栄え 花もわらいて鳥うたう
きょうのみ祭りみな祝え

「花祭りの歌」より

少年連盟本山中央研修会が3月29日(火)～31日(木)と開催され、田辺瑠衣さん・黒川茉尋さんが参加されました。中央の研修なので、全国から46名が参加されました。はじめはかなり不安できんちようの様子でしたが、みんなで



ゲームなどしながら、だんだんとうちとけていきました。各班に分かれて、出しものを作ったり変装したお兄さんも登場楽しい雰囲気です



2日目、3日目と本山お晨朝は6時から、みんな早起きをしてお参りです。



2日目は比叡山でのウォーキングでした。所どころで問題をといたり、ゲームをしたりの想い出づくり。



4月1日(金)

東海教区少年連盟本山参拝があり、存仁寺



から19名の参加でした。阿弥陀堂でおつとめ、茉尋さんが代表焼香。安穏殿に移って各お寺からの表彰です。6年生は

少年連盟賞を受けました。みんなで写真を撮ってお待ちかねお弁当の時間となりました。しばし、みんなでくつろぎながらお話しをしました。



昼食後はお堂に戻り今日は、奉仕作業です。国宝の両堂をみんなでゴシゴシと拭きました。



大勢でのお掃除です。畳も廊下もたいへん美しくなりました。

その後、鴻の間での抹茶の接待があり、



国宝の書院拝観です。

少年連盟賞

田辺瑠衣さん



黒川茉尋さんあめでとう



今年も春、会員だった方々を偲びながら、追悼法要を勤めさせていただきました。



昭和 55 年から始まつたこの会も、今まで沢山の方々が参加されておられます。
「ああ、この方も入会しておられたのか、もう、ご往生されていったのか」と、
感慨深く、法名軸の前で焼香させていただきました。ご院さんから「祀るいのち」
「旅立ついのち」「風になるいのち」など A コース
B コース C コースとあり、特別に「往き生れる」コース
がありますが、皆さんはどのコースにいかれますか、と

「後生の一大事」のお話を聞かせていただきました。4月 10 日ははなまつり参拝と

総会がありますので、皆さまどうぞ予定いたたき、お参り下さいね。



最近は TV のスイッチを入れるとすぐ目に入つて来るのは、学生さんの就職活動(就活)です。古い想い出になりますが私も就活に精を出していた時代がありました。本来ならば、自営業の生花店を継ぐ筈でしたが、戦前、戦後に青果店から生花店を経験して苦労した母が、卒業近くになって、お前はサラリーマンになれと勧めました。その母の意向を汲んで、学校にその旨を告げて就職先を何社か受けましたが全て失敗しました。或る日の登校日に、学校の玄関先で、これから上履きに履き替えようとしていたその時に、担任の教師から、今からこの会社へ就職試験を受けに行くようにと勧められて急遽試験会場へと向かいましたが、受験の時間には到底間に合はない、これでは今回もダメだと思いつつも、兎に角受験場に着いたところ玄関前では試験官が仁王立ちでした。遅刻をお詫びして受験をさせて頂きました。今回もダメかと半ば諦めていた、その帰宅した夕方に、速達で受験合格の報が届きました。私自身がビックリしたのは無論ですが、父母の顔にも安堵の様子が覗えました。私にとって、嬉しい驚きの想い出でした。今も昨日のように思い出されます。学生の皆さん最後まで諦めないで頑張ってください。

北海道大島義勝さん

嬉しい驚きの想い出

就活 (昭和三十七年)

■ 学生の就活を TV で観る度に想う

■ 懐かしい就活時の想い出が蘇える

■ 就職試験日に遅刻した、苦い想い

■ 過ぎし事なのに、何故か思い出す

■ 我が家は、生花店の自営業を営む

■ 町内で一か二の老舗に數えられた

■ どうにか食べて行ける程度の商い

■ 当然の事の様に、お店を継ぐ覚悟

■ 卒業間際に、母に就職を奨められ

■ サラリーマンの道を選び就活する

■ 証券会社、薬品会社の就活失敗す

■ 求人会社の試験日に、紹介を受け

採用の電報が届き、驚きと大喜び

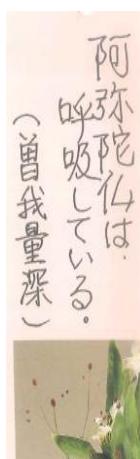
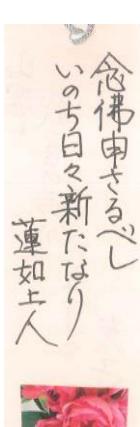
■ 今回も失敗と思う、その日の夕方

■ 同じ教室で学び遊んだ友は、何處に居るか

■ 桜の季節です。あるお寺の掲示に「花咲かす見えぬ力を春とい

う」「人となす見えぬ力を佛という」と書かれてありました。

■ 大いなるいのちのイトナミの中にそれぞれのいのちのかがやきがあるのだと気づかせていただきました。ご自愛ください。



札幌市
大島
光子

朝倉市
森田
瑛子



札幌市
大島
光子

春林に 萌黄の色の 優き出る
初桜 薄紅さして 哀きそむる
さんしゅゆ
山茱萸の 黄や眩しうて 人優し
遠目にも 白はつきりと 辛夷かな
遠慮なき 友との会話 春温し
やや腰の 伸びる心地や 桜咲く
こぶし
想い出に 生きたる 月日轍椿

落合 登代子

